

- K. YAMADA 山田耕苳 AN DIE GELIEBTE 愛に寄せて (歌詞ドイツ語)
- F. SCHUBERT シューベルト SEHNSUCHT 憧れ
- R. SCHUMANN シューマン WANDERLIED さすらいの歌
- R. WAGNER ワグナー O DU MEIN HOLDER ABENDSTERN 夕星の歌 (歌劇「タンホイザー」より) ほか

- 早坂文雄 うぐいす
- 小倉尚継 イタコに託す大鯉の悲話
- 橋本国彦 お六娘
- 米山正夫 リンゴ追分



# 故郷と異郷

Heimat und Fremde

2009年8月23日(日)  
14:00開演 13:30開場

山形テルサホール  
大人2,500円 学生1,000円

吉原 輝……………バリトン  
若槻量子……………ソプラノ  
フェリックス・ロマンキューヴィッチ……………ピアノ

主催 吉原輝コンサート実行委員会  
後援 山形県少年少女合唱連盟  
東京藝術大学同声会山形支部  
山形県教育委員会 山形市教育委員会

問い合わせ先：023-688-4196(小笠原)  
090-7067-5306(高橋)  
チケット取り扱い：(株)富岡本店/辻楽器店  
山形プレイガイド/十字屋山形店/山形テルサ

8月28日(金)：青森市民ホール  
8月30日(日)：鳴門市ドイツ館  
9月2日(火)：ホクトホール(長野県民文化会館)



# 故郷と異郷

## Heimat und Fremde



2007年に「音楽の旅」というテーマで初の日本公演を大成功に終えたこの三人が、今回取り上げたテーマは「故郷と異郷」である。

山田耕筰は、ドイツの音楽大学で学び、多くの名作日本歌曲を世に出す前、先ず、ドイツ語の歌詞に作曲し、その後日本語と日本の音を、西洋音階を用いて西洋の音楽美に結びつけた。

今回は、そのドイツ語による作品や、古今和歌集の「短歌」をドイツ語に訳し作曲をしたツィーリッツの作品、また、ロマンキューヴィッチ自ら、ドイツ語で俳句を詠み、それに作曲した「4つの俳句」等を取り上げる。これは、日本に故郷を持ち異郷に暮す二人の歌手と、ドイツに故郷を持ち異郷で演奏活動を行うピアニスト、両国の作曲家による作品の饗宴！真の意味での国際交流＝コラボレーションである。



### 吉原 輝 (バリトン)

山形市立第五小学校卒業。山形県少年少女合唱団OB。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修了。ロータリー財団奨学生としてミラノ音楽院留学後、シュトゥットガルト国立音楽大学大学院リート科及びオペラ科を修了。第7回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位入賞。埼玉シテオペラ『蝶々夫人』のシャープレス役でオペラ・デビュー。その後、2000年にシュトゥットガルト国立室内歌劇場において、L・フォス作曲のオペラ『ジャンピング・フロック』のギター弾き役でドイツにおけるオペラ・デビューを果たし、その主な活動拠点をヨーロッパに移した。その後『セビリアの理髪師』のタイトルロールや『魔笛』のパバゲーノ等で、シュトゥットガルト国立室内歌劇場を始め、ドイツ、スイス及びフランスで毎年オペラに出演し、それらは欧州各国のメディアで放送され、CDとして販売もされている。また宗教曲においては、欧州各地で既に300回に及ぶコンサートに出演しており、ヘルムート・シリング等著名な指揮者と共演するなど国際的に活躍している。2007年には、NHK交響楽団にソリストとして招かれ、ネッロ・サンティ指揮、第1604回N響定期公演に出演。2002年よりドイツ・イタリアで多数日本歌曲のリサイタルを行っている。2009年9月には畑中良輔氏の企画・構成による日本歌曲シリーズに出演予定。現在シュトゥットガルト国立音楽大学講師。ヘレンベルク市立音楽院講師。



### 若槻量子 (ソプラノ)

徳島県出身。東京藝術大学声楽科卒業後、東京芸術大学大学院オペラ科修士及び博士課程修了。2003年「スプレットの研究」で音楽博士号取得。ロータリー財団奨学生としてミラノ音楽院留学後、文化庁派遣芸術家在外研修員として再び渡欧。『コシ・ファン・トゥッテ』デスビーナ役で二期会デビュー。その後、東京室内歌劇場のオペラ公演『フィガロの結婚』スザンナ役を始め、2005年の新国立劇場における『魔笛』のパバゲーノ役は高く評価されNHKで全国的に放映された。他、ニュルンベルク・オペラアカデミー公演でのスザンナ役がドイツの新聞各紙で絶賛されるなど、研究テーマであったスプレット役を主なレパートリーとして、小澤征爾、若杉弘ら著名な指揮者と共演し内外で活躍。また宗教曲では、98年新日本フィル『第九交響曲』のソリストに抜擢された他、国内及び欧州各地において多数のコンサートに出演。二期会会員。ヘレンベルク市立音楽院講師。



### フェリックス・ロマンキューヴィッチ (ピアノ・作曲)

シュトゥットガルト国立音楽大学ピアノ科卒業。ソリステン・クラス(ドイツにおける最高学位)を修了し、2001年国家演奏家資格取得。1997年ベルマン・ハーゲ助成金、1999年にはリヒャルト・ワーグナー奨学金を獲得。2002年より2003年までフランスのトゥルーズ音楽院大学院に在籍する傍ら、ドイツ国内外の多数のコンサートにおいてソリストとして出演。その後室内楽及び多くの著名な歌手と共演し、何れも「歌手にとって理想的な共演者」と高く評価され、その演奏は衛星放送で取り上げられ、CD録音もされている。またシュトゥットガルト国立室内歌劇場のオペラプロジェクトでは、定期的にコレペティトツアーとして活躍している他、シュトゥットガルト近郊のモンレポ城におけるコンサートには毎年ソリストとして招かれており、またシュトゥットガルトのムゼオ・ホールで、毎月多くの若手演奏家とのコンサートを企画、出演。更に作曲活動においても高く評価されているなど、その精力的活動は多岐に渡る。シュトゥットガルト国立音楽大学講師。『Musec音楽のタペ』音楽監督。



### シリーズ「日本とドイツとの対話」の歩み

- 2002年11月 第1回「日・独の民謡から芸術歌曲までの比較対照」「夜」(ロマンキューヴィッチ作曲作品) 初演
- 2003年11月 第2回「橋」-文化の架け橋- 「二つの俳句」初演(末吉保雄作曲、ロマンキューヴィッチ作曲)
- 2004年11月 第3回「音楽の旅-ドイツから日本へ」
- 2005年11月 第4回「日本とドイツの連作歌曲」
- 2006年 5月 第5回「日本とドイツの連作歌曲」
- 7月 第6回「音楽の旅-ドイツから日本へ」
- 2007年 1月 第7回「音楽の旅-ドイツから日本へ」日本公演 山形市、喜多方市、徳島市
- 2009年 6月 第8回「故郷と異郷」バーデン・ヴェルテンベルク独日協会主催